

会長年頭挨拶

東久留米稲門会会長 高橋 哲男

明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、おすこやかに新春を迎えたことと存じます。本年も宜しく願いいたします。また、昨年は稲門会活動をご支援、ご協力いただきまして厚くお礼を申し上げます。

本年度、早稲田大学の総長選挙が実施されますが、革新的なことは商議員全員が、決定選挙において 1 票を投じることができるようになります。これは、多くの校友が、早稲田の運営に関わっていくことが必要と考えているためだと思います。一方、早稲田アリーナは 65% の進捗状況で、平成 31 年 3 月に完成を目指しています。

昨年度の早稲田スポーツは元気がありませんでしたが、選手は頑張っています。今年は、野球は 70 年前と同様翌期優勝、ラグビーは創部百周年で山下大悟監督のもと全日本選手権優勝をめざします。箱根駅伝は、本紙発行時には結果が出ていますが、出雲駅伝、全日本大学駅伝、持ちタイムから、5 位以内、最低シード権は確保してほしいと思っています。早稲田スポーツを応援しましょう。

当会の今年度の行事は、1 月 27 日(土)新年会、4 月 22 日(日)定時総会で、秋の旨いものは 10 月に開催する予定ですが、2 年連続したバーベキュー会ではなく成美教育文化会館での実施を検討しております。ご家族を含め奮ってのご参加をお待ちしております。

東稲ニュースについては、本年 5 月で創刊以来 100 号になりますのでカラーで印刷した記念号を作成する予定です。原稿ご執筆を宜しくご協力お願いします。

会員の親睦において「部会」は、根幹を担っています。部会活動を支援したいと思いますので、会員の皆様、是非部会を体験、見学して入会をご検討下さい。また、部会との紐帯強化が必要です。2 月に部会長・役員会議を開催する予定です。

早稲田の校友は元気です。90 代が 80 代、80 代が 70 代、70 代が 60 代に見えます。年頭に当たり、皆様の益々のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



会の告知板

【部会予定】

1 月 20 日(土)	諸芸術鑑賞会「ニューイヤーコンサート」	17:00	練馬文化センター
1 月 22 日(月)	ウォキング & 山歩き部会「甲州街道を歩く 第 4 回」	08:40	東久留米駅改札口
1 月 27 日(土)	東久留米稲門会新年会	14:00	成美教育文化会館
2 月 4 日(日)	第 5 回役員会	16:00	生涯学習センター
2 月 5 日(月)	ウォキング & 山歩き部会「長瀬・宝登山・梅園散策」	09:10	東久留米駅改札口
2 月 19 日(月)	ウォキング & 山歩き部会「甲州街道を歩く 第 5 回」	<詳細未定>	
2 月 24 日(土)	部会長・役員「部会運営協議会」	16:00	生涯学習センター
3 月 5 日(月)	第 29 回グルメ会「川越 うなぎ・ぼんぼ亭」	09:00	東久留米駅改札口
3 月 19 日(月)	ウォキング & 山歩き部会「甲州街道を歩く 第 6 回」	<詳細未定>	
3 月(日程未定)	映画鑑賞会「欲望という名の名の電車」	14:00	成美教育文化会館

4月 2日(月) ウォーキング&山歩き部会「桜の花見」(状況により 3/26 に) <詳細未定>
 4月 22日(日) 東久留米稲門会第 24 回定時総会 <未定> 成美教育文化会館
 5月 13日(日)～14日(月) 旅行同好会「福島県母畑温泉」 <詳細未定>

<各部会定例活動一覧>

部 会	1 月				2 月			
	日	曜	時間	場所	日	曜	時間	場所
女性サークル	17	水	10:00～	中央町地区センター	8	木	10:00～	中央町地区センター
囲 碁	28	日	13:00～	成美教育文化会館	25	日	13:00～	成美教育文化会館
俳 句	21	日	13:00～	生涯学習センター	18	日	13:00～	生涯学習センター
書 道	14	日	13:00～	成美教育文化会館	11	日	13:00～	生涯学習センター
太極拳	13	土	10:00～12:00	成美教育文化会館	3	土	10:00～12:00	成美教育文化会館
	20	土	10:00～12:00	成美教育文化会館	17	土	10:00～12:00	成美教育文化会館
	27	土	10:00～12:00	成美教育文化会館	24	土	10:00～12:00	成美教育文化会館
バドミントン	毎週金		10:30～	東久留米スポーツセンター	毎週金		10:30～	東久留米スポーツセンター

【大学・校友会関係】

3月 3日(土) 春季代議員会 16:00 大隈会館



会の報告

◎役員会報告 平成 29 年度第 4 回役員会が 12 月 10 日(日)16:00～生涯学習センターで開催された。

<議事録概要>

1. 大学・校友会・近隣稲門会・三田会関係：各担当者より、以下の行事の報告があった。
 - (1) 10月4日(水) 稲門祭実行委員会 井深記念講堂・・・小野、山口
 - (2) 10月7日(土) 小平稲門会総会 ルネ小平・・・高橋、小山田
 - (3) 10月15日(日) 稲門祭・・・小野、山口、塚越
 - (4) 11月11日(土) 東村山稲門会総会 サパルネコンベンションH・・・高橋、山口
 - (5) 11月12日(日) 三多摩支部大会 大隈会館・・・高橋、村野、山岡
2. 10月8日(日) バーベキュー会の反省：担当の小野副会長より、天気にも恵まれスムーズに行われたが、今回も女性陣にご苦勞をおかけした。次年度は屋外ではなく、天候に左右されない屋内で実施することを検討したいとの報告があった。
3. 2018 年 1 月新年会について：担当の小山田副会長より、以下の確認があった。
 - (1) 日時：1月27日(土)14時～16時 (13時～16時30分予約) < 役員集合 13時 >
 - (2) 場所：成美教育文化会館 3 階大研修室
 - (3) 役割分担他：・楽膳と足立屋には日時、場所のみ依頼してある。・稲門会の予算の中から補助金を出し、良い賞品を出すことにする。・詳細は、後日打合せ会を行い決定する。
4. 部会長と役員の部会運営協議会について

高橋会長より、稲門会活動の中核を占めるのは各部会の活動であるが、運営に支障が出ている部会もあるようなので、2月24日(土)16時から役員と部会長の会議を行い、部会活動のバックアップをしていきたいと思う。また、役員会に部会長も出席できるようにすることも検討していきたいとの説明があった。
5. 推薦校友の推薦について：事務局長より、早稲田大学の推薦校友の条件が説明され、該当する方が

いれば報告していただきたいとの依頼があった。

6. 2018 年度定期総会について

(1) 日時：4 月 22 日(日)

(2) 場所：成美文化会館 ギャラリー・3 階大研修室

(3) その他：長束幹事より、講演を依頼してある八重樫氏に、午前中は滝山グラウンドにおいて、少年野球の子供たちと指導者への野球教室も実施するとの報告があった。

7. 広報関係

(1) 東稲ニューズ—記事の募集、印刷日時等：担当の小山田副会長より、編集案の概要説明、原稿締切が 12 月 25 日(月)、印刷は 1 月 6 日(土) 15 時から生涯学習センター印刷室との報告があった。

8. その他：(1) 事務局長より、東久留米三田会 田島正延幹事長が 11 月 14 日(火)急逝されたとの報告があった。(2) 清水会計担当より、校友会本部から補助金 20 万円が入金されたとの報告があった。
・次回役員会について—2018 年 2 月 4 日(日) 16 時 生涯学習センター「学習室 5」 大矢 真弘 記

◎11 月 12 日(日) 東京三多摩支部大会

2017 年度の三多摩支部大会が大隈講堂において、西東京稲門会・小平稲門会の主幹で開催されました。東久留米稲門会からは、高橋会長、村野、山岡、小山田の 3 副会長、中村幹事が出席。

会場では、プログラムの始まる前の序章として、13:30 よりマンドリン楽部演奏があり、その後、第一部の映画上映会「ラストゲーム 最後の早慶戦」が始まりました。映画は、ご存じの通り、戦局が厳しさを増し学徒動員が始まる直前で、6 大学野球も開催不可能となるなか、最後



鎌田総長を囲んで

の早慶戦として早稲田の戸山球場（のちの安部球場）で催行された試合の実話。出征したらず生還することは叶わないという極限状況がリアルに表現されており、涙なしには見られない秀作でした。

16:00 より式典が開始、鎌田総長ほか来賓挨拶、活動報告、アリーナ募金贈呈式(50 万円)が行われ、引き続き 17:00 より大隈ガーデンハウスで懇親会が行われました。192 名の参加。 小山田朋樹 記

◎11 月 11 日(土) 東村山稲門会総会

11 月 11 日(土)東村山サンパルネ・コンベンションホールで東村山稲門会の第 22 回総会が開催され、当会から高橋会長・山口が出席。第 1 部通常総会。第 2 部講演会で静岡県支部幹事長青島秀樹氏により「人生劇場」が口上披露された。なかなか聴く機会少なく興味深い演題。名古屋稲門クラブ理事で名古屋女子大学教授の林 和利氏が早稲田と「人生劇場」について講演された。因みに、青島氏は当会大矢事務局長の応援部 1 年先輩の由。第 3 部は懇親パーティで「ニューオールリンズジャズクラブ」がアトラクション演奏。東村山は会員 184 名を擁し、年 4 回の講演会、誕生会、新年会・花見会・納涼会、16 同好会と活発に活動されている印象であった。 山口 謙二 記

◎12 月 1 日(金) 都内稲門会合同会長懇話会

12 月 1 日(金)18 時 30 分より、大隈記念タワー15F「森の風」で都内稲門会 合同会長懇話会が開催された。今回の主幹は葛飾稲門会で来賓紹介後、鎌田総長挨拶、福田代表幹事挨拶、新会長挨拶の後、懇談となり、次年度は調布稲門会に引継となった。 高橋 哲男 記

◎12月2日(土) 2017年商議員フォーラム

12月2日(土)午後2時から大隈講堂にて商議員フォーラムが開催され、当会からは、安次峰前会長、高橋会長が出席した。今回は、来年度の総長選挙制度が主題であり、概要は下記にて。

- ・鎌田総長より ①商議員会に対して、母校への恩恵を賜り感謝と大学の運営に携わり関係強化。②総長選挙について文科省は、反対であるが、私学の雄として選挙制度は維持。③イギリス QS 社の格付で大学順位は日本国内 2 位、1 位は東大、12/1 データ科学総合センター設立。④2012 年～2017 年の総長就任期間、大学改革、入学選抜制度に地域貢献型入試制度の導入、外国人留学生 7,200 名、早稲田在校生の 40%が外国留学経験、82%が 50 人以下、49%が 20 人以下のクラスでの授業、3 万人を超える学生が体験学習を経験している。⑤2018 年総長選挙には教職員でない商議員等校友が前回の 6 倍約 1,100 名の選挙人となる。
- ・花岡理事より、評議員改選及び総長選挙の説明
- ・橋本副総長より「グローバルリーダーと地域連携」について講演
- ・齋藤理事より早稲田アリーナ募金のお願い (20 億円の目標に対し現在 13 億円)

高橋 哲男 記

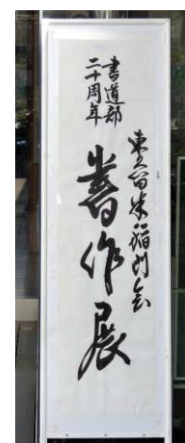
部会報告

＜書道部会＞ 20 周年記念「第 9 回書作展」 11 月 10 日(金)～12 日(日)

11 月 10 日(金)から 12 日(日)の 3 日間、成美教育文化会館ギャラリーにおいて、書道部 20 周年記念「第 9 回書作展」を開催いたしました。

天候にも恵まれ、250 名を超える稲門会会員、ご家族、友人、知人の皆様にお越しいただき、書道部会員 13 名の百数点の作品を見ていただき、誠にありがとうございました。

今回は 20 周年記念ということもあり、全員の作品と顔写真を入れた図録も作り、力をこめた作品作りに励みました。皆様のご感想はいかがだったでしょうか。また、



20 周年記念作品展会場にて記念撮影

武藤先生の発案で小作品展コーナーも設け、今までとは違った雰囲気で書道の魅力も出せたのではないかと考えております。会員一同、今後も上達するよう練習を積み、もっと良い作品が出来るよう頑張りますので、次回(平成31年11月)の作品展も楽しみにしていただきたいと思います。もちろん、新会員の募集も行っておりますので、ご連絡をお待ちいたしております。

最後に、書道部が創部20年を迎えることができたのは、設立当初から指導と運営を行っている武藤先生と、お亡くなりになりましたが、稲門会の初代事務局長であった高橋勤氏の熱意と努力の賜物です。お二人に敬意と感謝の気持ちをお伝えし、書道部に限らず他の部会と東久留米稲門会の発展を祈念して、ご報告にさせていただきます。

大矢 真弘 記

＜旅行同好会＞ 「甲斐信濃バスの旅」 11月12日(日)～13日(月)

11月中旬ともなると朝6時では未だ明けきれない。11月12日(日) 老老男女常連15名は眠たい目をこすりながら市役所脇に集合、毎度お世話になっている多摩湖バスに乗り込み甲斐信濃の旅が開幕した。

一片の雲さえない冬日和の下、中央高速道を快適に北上し、甲府昭和ICを出て甲府市内へ。駅前の豪壮な武田信玄公像前で記念撮影後、武田神社へ足を延ばす。神社の石段を上る諸兄姉氏の足取りが何と



甲府駅前 信玄公像前にて

なく心許ないのが気になったが、これも生育?の証か。神前で旅の安寧を祈るだけなら兎も角、お賽銭の額を遥かに上回る願い事をした人が多かったのはご愛敬。初日のハイライトは紅葉の昇仙峡行きである。健脚を自認していた人達でも2時間近くの歩行を強いられ、己の脚力の衰えを嫌でも認知させられた。途上クマ?に出逢ったと驚いていたご婦人たちもいたが、疲労困憊から来た幻覚でなければ幸いである。甲州名物‘煮込みほうとう’で昼食を済ませて里に下り、白州ウイスキー工場、七賢酒造を見学。酒好きの多い当同好会のツアーには決まって酒蔵見学がついている。

時間に余裕が出来たということで、予定になかった御柱祭で有名な諏訪大社上社を急遽立ち寄り、ほぼ予定時刻に今日の宿舎―諏訪随一の名館“紅や”に安着。ちょっとお歳を召された女性(早い話が‘オバタリアン’)の性か、休息ものかは売店に直進し衝動買い/爆買い。落ち着いたところで、一同一堂に会し飲み、食い、歌い、そして温泉を堪能し悠々初日のお開きとなった。



諏訪大社下社秋宮門前 塩羊羹の老舗前にて

うに視界に入ってくる。なんともメルヘンチックな風景だ。錦繡の紅葉美にあやかりたいとその評判も高い八千穂高原に迂回したが、残念なことに既に時期は過ぎていた。が、代わりに車はおろか人影もない静寂な高原を覆うように林立する白樺林に息を呑むような美しさを見た。平山画伯や東山魁夷画伯がこの地を愛し絵筆をとったのも頷ける。

第12回東稲旅行同好会の旅もいよいよ終盤、健康長寿王国を誇る信州は佐久の地に立つ、その名も劇的な「長寿・ぴんぴんころり地蔵」を詣でた後、佐久南ICで高速道路に。最後に横川で夕飯の名物釜めしを仕入れ旅の幕引きとなった。

見どころ歩きどころの多い盛り沢山の行程で少々疲れはしたが、心地よい余韻の残る充実した愉快旅であった。

比護 喜一郎 記



ぴんころ地蔵に願いを込めて

<女性サークル> 「漱石山房記念館訪問」11月16日(木)

11月16日、女性サークルの10名で、早稲田駅のほど近くに新設された「漱石山房記念館」に行ってきました。早稲田近辺は、漱石ゆかりの地です。生まれたのが、当時の馬場下町。今でも夏目坂(漱石の父親が名付けたらしい)に面したところに、「生誕の地」という碑が立っています。また、帝大生時代の漱石は、早稲田大学の前身である東京専門学校で、三年ほど英語を教えていました。亡くなったのも、

早稲田南町にある、漱石山房と称されていた自宅でした。

さて、肝心の記念館は、展示品がやや少ない印象はありましたが、漱石の書斎なども再現されており、趣向を凝らした面もありました。個人的には、自作の俳句を書き付けた短冊や、自筆の葉書などに興味を引かれました。

漱石記念館を出たあとは、懐かしい穴八幡の前を通り、正門前を少し下ったところにあるお洒落なレストランで楽しく会食をし、解散となりました。

片平 るみ 記



昼食のレストラン前にて

<ウォーキング&山歩き部会>

① 第63回「天覧山、多峰主山、吾妻峡」11月20日(月)

晩秋に、今年一番の冷え込みとなった為か、いつもに比べて寂しい9名(内女性1名)の参加となった。西武池袋線終点の飯能駅から出発、市の中心地、銀座通りを歩き天覧山に向かう。月曜日の朝ということ割り引いても、扉を閉ざした建物が多い地方の繁華街を歩いて行く内に、白い象で知られる古刹・観音寺を過ぎ、天覧山の麓の古刹・能仁寺に至る。能仁寺は予定では通り過ぎるだけでしたが、折からの紅葉が素晴らしく、急遽境内での紅葉狩りと洒落込みました。「このたびは幣(ぬさ)も取りあへず手向(たむけ)け山 紅葉の錦神のまにまに」(菅家、古今集)。道真が京都から奈良へ越えた峠の紅葉の美しさに心打たれた故事を百人一首から思いを馳せ、我々も一時、紅い風景に浸っておりました。

天覧山は、埼玉県飯能市の北西部にある丘陵である。もとは、愛宕山と呼ばれたが、明治16年山麓で行なわれた近衛兵春季小演習を明治天皇がこの山頂から統監したことにより、天覧山と呼ばれるようになり、行幸記念碑が建てられている。標高は195メートルで容易く登ることが出来る上、頂上からの眺望が良く、飯能市街が一望でき、奥武蔵や奥多摩の山々に加え、富士山も見えられている。(この日は残念ながら見えなかった)南面や頂上では、近年NHKの「ブラタモリ」でお馴染みの、秩父中・古生層(約4億～1億数千万年前)の地層・チャートの露出が見られ、遠い昔はこの地が海底であったという大地の大変動を身近に感じた。徳川五代将軍綱吉の生母・桂昌院が寄進という羅漢(悟りをひらいた高僧)像に見守られているような雰囲気の中、頂上に至った。



能仁寺山門にて



天覧山頂上にて

多峰主山(どうのすやま)は天覧山の西側に位置し、標高271m、天覧山とセットで歩くハイキングコースとして人気が高い。標高の割には眺望がよく、天覧山に続く丘陵や飯能市街、周囲の龍崖山(246m)や日和田山

(305m)の眺望が楽しめるが、更に西武ドーム球場、さいたま新都心や東京スカイツリーなど都心部、遠くは筑波山、関東平野を一望できるという宣伝文句は、霞んだ風景に想像するだけであった。天覧山から一旦下って再び登る坂は「見返り坂」と呼ばれ、その昔源義経の母・常盤御前が、あまりの景色の良さに振り返りながら登った故事から名が付いているが、現在では成長した植林の中に埋没し、往事を偲ぶことは出来なかった。見返り坂の付近では、牧野富太郎博士により新種の笹が発見され、「ハンノウザサ(飯能笹)」と名付けられた埼玉県指定天然記念物の笹が、保護されながら道の両側で丈の低い藪をなしていた。

山頂には1万2千個もの経文を書いた石が埋められていると言われる経塚があり、かなりの広さにベンチも用意されており、三々五々に昼食とした。寒暖計は多少の日差しの中の真昼に8°Cを指していたが、歩くのを止めた為に風の冷たさが身に沁み、手軽な2つの山歩きは、早々に下山を余儀なくされた。山頂近くの御嶽八幡神社を経てその参道を下り、吾妻峡へ進んだ。入間川にかかる岩根橋を境に上流が吾妻峡、下流が飯能河原。吾妻峡は奇岩が続く、溪谷美を見せており、石を点々と置いた橋「ドレミファ橋」は、手すりなどなく、注意して一步一步対岸へ渡った。ここで二手に別れた。

選択肢1: 川に沿った遊歩道は一部しか整備されておらず、石や岩の足場の悪いところを歩くが、景色は最高。溪谷美に包まれて、赤岩、兎岩、汽車淵などを鑑賞しながら、普段味わえぬ一時を楽しんだ。

選択肢2: 河原から上がって県道に出て直ぐ、聖徳太子を祀る「八耳堂」(はちじどう)と、鎌倉時代に建てられた「軍荼利神社」(ぐんだりじんじゃ)を訪れた。両者共、説明の表示も行き届かず、訪れる人も少ない、ほったらかしの、廃屋の感を禁じ得なかった。

両者共に、「中平河原」で合流し、飯能駅まで歩き、駅近くの中国人経営の中華料理店での打ち上げで、今回を締め括った。

ところで、明治の末に、我が早稲田大学の学生であった若山牧水は「幾山河越えさり行かば寂しさの果てなむ国ぞ今日も旅ゆく」と詠んでいます、「山のあなたの空遠く幸ひ住むと人のいう——」(ブッセ・上田敏)といった若き日の憂いは遠い昔のこととして、この日のような気楽な山歩き(一般に初心者向けとされるコース)を楽しむことを、今後も続けていきたいと思っていますので、多くの会員とご家族のご参加をお待ち致します。

ウォーキング番外編『甲州街道を歩く』活動報告

第2回 11月27日(月): 調布(5.0km)⇒府中(9.3km)⇒JR日野駅 計14.3km 参加者8名(内女性2名)

前回の終着点京王線調布駅からスタートし、府中迄は現在の国道20号線(現甲州街道)にほぼ平行に走る旧甲州街道を歩いた。府中には、武蔵国総社で武蔵国鎮守である大國魂神社が鎮座しており、櫛並木を散策しながら参拝した。この櫛並木は、1,000年近い昔に奥州安倍一族を平定した源頼義、頼家親子によって大國魂神社に寄進されたものがその起源であり、現在は通りに沿って長い公園のように整備され、素晴らしい景観の中を散策する人々に愛されているという。我々もその人達と同じく風景に浸ると共に、並木に面したビルのファミレスにて昼食をとった。

その後、暫く旧道を歩くと、東八道路と20号線が交差する本宿交番前(東久留米から国立府中ICに行く際の主要交差点)で20号線に合流した。旧本宿村の鎮守・熊野神社では社殿裏にあるその昔の上円下方墳を見学。更に国立インター入口を左折する現在の20号線に別れを告げて旧甲州街道256号を進み、暫く歩いた先にある谷保天満宮に詣でた。菅原道真が太宰府に流罪となった際に三男道武がこの地に配流されたのが起源の社だが、平安の世の政争が遠く関東にまで波及していたことについて、所謂政治家の持つ業に暗澹たる思いがした。余談だが、道真の死後作らせた父の像の出来が悪かったことから「野暮天」の語源になったという話がある。そこから更に旧道を歩み、足が重くなった夕刻近く、往事「日野の渡し」があった多摩川の立日橋を渡り、中央本線日野駅に辿り着いた。東久留米に戻り、恒例の通り、有志で打ち上げを行った。



府中櫛並木 源義家像前にて

第3回 12月18日(月):日野(5.7km)⇒八王子(11.0km)⇒小仏バス停 計16.7km 参加者10名(内女性5名)

中央本線日野駅の出口を掠めるように旧甲州街道(256号)が走っており、これに沿って、日野自動車の広大な敷地を過ぎ、コニカミノルタの建物群を過ぎて、高倉稲荷神社で小休止、この辺りで道は再び20号線と一緒にになった。JR八高線を越え、八王子バイパスの高架を潜ると都会らしさを増し、八王子駅前から追分町交差



武蔵陵墓地参道入口

点までの大通りは第1回で内藤新宿を出て以来の繁華街を誇っていた。その先の西八王子駅まで行きファミレスで昼食を交えて休息。腹ごしらえを終えて、所々旧街道の名残部分を訪ねながら武蔵陵墓地参道入口まで歩む。高尾駅前を過ぎ、西浅川交差点を右折して再び旧甲州街道(都道516号)に入り、小仏(コボトケ)峠登山の麓の小仏まで約5km弱に挑んだ。

江戸時代、入り鉄砲と出女を厳しく取り締まったという関所跡を過ぎ、道は緩やかながら少しづつ傾斜を強めていく。鬼が人を襲った

が持っていた念珠の玉が飛び散り助かったという念珠坂、狛師から僧が助けた白蛇が一条の滝となった蛇滝伝説の中、フライングルアーの国際マス釣場を過ぎ、JR中央本線の高架を潜り、今は昔日の面影もない小仏宿を過ぎて、漸く本日の終着点小仏バス停に辿り着いた。

帰路の途中、所沢にて、有志により打ち上げを行った。

東海 俊孝 記

<ゴルフ部会> 「第28回 三田会との合同ゴルフ大会」 11月24日(金)



今回も天候にめぐまれました

11月24日(金)絶好のゴルフ日和の中、熊谷ゴルフクラブで、稲門会11名、三田会8名合計19名参加のもと第28回合同ゴルフ大会を開催。個人戦は稲門会の上原さん(S40年卒)がネット72(グロス86)で大会8度目の優勝。断然の実力の持ち主なので勝って当然とはいえませんが、今回は9月に右肘を手術しリハビリ明けというハンデもあったと聞きました。2位小野さん、3位清水さん、4位池田さんと稲門会勢が上位を独占。また各会上位6名のネット合計で競う団体戦も当会が24ポイント差で勝利し、8連勝で、通算戦績も14勝13敗1分けと念願の勝ち越しを果たすことができました。

尚今回は、ゴルフ場への交通手段の自動車について配車上の問題や効率化を図るため、稲門会員車が三田会の一部メンバーを送迎する乗り合わせを実施したことが特記されます。

平成29年も稲門コンペ2回、三田会との合同を2回、合計4回のコンペを開催し稲門・三田会を合わせ延べ61名の参加があり懇親を深め、良い思い出が残った一年になったと思います。 伊東 毅 記

<俳句部会>

第208回 11月19日(日) 生涯学習センター

兼題 冬着 木の葉髪

人並みに独り言増え冬に入る

溪流の巨竜となりて紅葉食む

木の葉髪玻璃に映りし己が影

祖母ゆずり袂重たき冬着かな

分けますか床屋の世辞は木の葉髪

角帽や冬着重ねて講義受く

冬服の群れを吸い込むビルの谷

野放図に生きて八十木の葉髪

木の葉髪今それなりに生きてをり

懷に猫の鳴き声冬着かな

馬場清彦

杉本達夫

神田尚計

比護喜一郎

馬場清彦

大久保泰司

三浦洋子

比護喜一郎

橘優治

片平るみ

第209回 12月17日(日) 生涯学習センター

兼題 漱石忌 焼き芋

生きにくい世を永らえて漱石忌

ラグビー場帰路に待ってる焼芋屋

彼の猫の名前付けしや漱石忌

差し入れし焼藪が縁古女房

焼芋屋ビルの谷間に笛高く

いやなんとこむづかしき世や漱石忌

杉本達夫

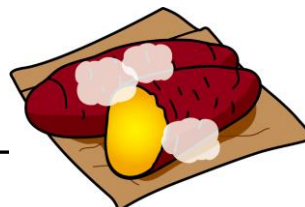
三浦洋子

比護喜一郎

橘優治

川俣栄一

神田尚計



片平 るみ 記

<囲碁部会> 囲碁部会の近況

秋の囲碁大会 (合宿)

11月25日(土)～26日(日)に、囲碁部会秋の研修旅行を行いました。例年通り、奥秩父小鹿野町の温泉宿で、紅葉の季節をやや過ぎており、夜祭を近日に控えて、束の間の静けさに包まれた秩父の町でした。西東京稲門会囲碁部会の協力参加者を加えて、7名による囲碁大会は、同率勝者4名という激戦になりましたが、規定により鮎貝部員の優勝となりました。

囲碁早慶戦

第56回囲碁早慶戦が12月2日(土)に行われました。日本棋院大対局場に両校約240名の腕自慢OBが集結した盛況ぶりでした。東久留米稲門会は、西東京稲門会と協力して無差別級1名、ハンディ級2名を出場させて、母校の勝利に貢献しました。近年早稲田側がやや押され気味の大会になっ



7名による合宿の囲碁大会 優勝は鮎貝さん

ていましたが、今回は見事に勝利を収め来年度以降に期待を抱かせました。

試合結果 無差別級：W40 勝 - K25 勝、ハンディ級：W46 勝 - K51 勝、校友会：W37 勝 - K38 勝、
合計：W123 勝 - K114 勝

※当会の年間成績優秀者が決まりました。(囲基部会月例の年間実績)

最多対局者：鮎貝部員 40 局、次点：苅草部員、

最高勝率：秋本部員(西東京)59.3%、次点：安藤部員 57.6%

苅草 正守 記

＜バドミントン部会＞ 東久留米市民大会出場 12月10日(日)

5月に引き続き、またもバドミントン東久留米市民大会に出場しました。12月10日(日)に160名ほどが集まっての大会です。市民より他市民の方が多いに違いない大会。それなりのレベルでした。出場者は、中澤コーチと、稲門会ならぬ三田会の我が夫です。

片平 るみ 記

「バドミントン東久留米市民大会出場」

リオ五輪で金藤選手が200m平泳ぎで金メダルを取った日に、初めて稲門会バドミントン部会の皆様にお会いしました。一緒にプレイするようになって一年数か月ですが、皆さんの上達に驚いています。バドミントンの魅力の一つに、他の球技にはないシャトル独特の飛び方がありますが、毎回つい夢中になって皆さんとシャトルを追いかけています。

今年の5月に片平(邦)・中村ペア、松崎・片平(る)ペアが市民大会に挑戦しましたが、無念の涙を飲む結果となりました。そこで、雪辱を果たすべく12月10日に開催された市民大会に、片平(邦)さんと片中ペアを結成し出場しました。ペアの結成からあまり練習はできなかったのですが、息の合った真心のプレイで優勝を目指しました。ところが、息は合っていたのですが、シャトルは言うことを聞かず、真心は足の動きにブレーキをかけてしまいました。出場した4部は5チームの参加があり、結果は次に繋がる2勝2敗でした。最後に言わせてください。片平さん、お疲れ様でした。バドミントン部会の皆様いつも有難うございます。

中澤 道宣 記

「東久留米バドミントン大会奮戦記」

稲門会バドミントン部として、2回目の出場。前回の5月は全くの初心者として参加し、仲間の女性組に勝っただけの1勝2敗。今回もそんな成績では、稲門会としてのプライドが許さない。しかし、初戦は前回優勝の「柳に風・ご老人」コンビ。いやな予感。あっという間に敗れる。

残る相手は、東村山から参上の美女軍団3チーム。初戦は楽勝するも、次の戦いでは苦杯をなめる。負け越しは許されない、後がない。次のチームには勝ったと思った瞬間、逆転されるも、最後にコンビの息もピッタリあい、勝利。2勝2敗となり、5チーム中3位を確保し、何とか稲門会の面目を保つことができ、安堵。

片平 邦昭 記



片中ペアで大会出場

＜ラグビー観戦部会＞

すでにみなさまご存じの通り、12月16日の大学選手権初戦で東海大学に負けて敗退。残念ながら今年正月まで残ることはできませんでした。今年は創部100周年に当たり、海外遠征も予定されているとのこと、ぜひ記念の年に奮起して、来シーズンには頑張ってもらいたいと祈るばかりです。我がラグビー観戦部会も、めげずに応援を続けます！ がんばれ！早稲田ラグビー！



11月23日 早慶戦観戦

今季戦績は下記の通り。

対日体大(9月16日)○54-20、対青学大(10月1日)○94-24、対筑波大(10月14日)○33-10、
対帝京大(10月28日)●21-40、対成蹊大(11月5日)○99-14、対慶応(11月23日)○23-21、
対明治(12月3日)●19-29、大学選手権 対東海大(12月16日)●18-47、 小山田朋樹 記

<カラオケ部会> 12月26日(火)

平成29年もあと数日を残す旧臘26日、「付度」は身に染みついているものの、「インスタ映え」とは余りご縁がない、いつもの面々を中心に総勢16名の歌侍がホームグラウンドの「オンチッチ」に集結、日頃鍛えし「のど」のご披露に及ぶとともに、これまで溜まった「ちりあくた」をマイクに託して洗い流し、心の大掃除と相成りました。

トップバターは、恒例により、本会の大御所である馬場先輩、曲目もお馴染みの「ひばりの佐渡情話」、これを皮切りに、村上進行役により着々プログラムが進められ、ステージから流れるメロディーは、懐メロ、演歌、軍歌、フォーク、シャンソンなどバラエティーに富み、まさに、「歌は世につれ世は歌はつれ」のとおり、おのおの方、あの日、あの時を想起しつつ、それぞれの分野で活躍した日々

に想いを馳せながら、拍手と歓声に包まれた楽しい時が流れていきました。

この間、仲間の歌を聴きながら、ガソリンを補給しつつ、向こう三軒両隣の盟友と年次を超えて親しく語り合う和気藹々の光景がここで見受けられ、何とも居心地のよい空気感が漂いました。

楽しさに紛れているうちに、気がつけば、画面に「早稲田大学校歌」の文字が浮かび、村上応援団長のご発声でお互い肩を組みながら高歌吟唱、身も心もスッキリした気分になり、それぞれ一足先に「往く年来る年」のエールを交換し、三三五五凍てつく冬空を仰ぎながら家路につきました。

なお、時間とエネルギーに余裕のある方は、二次会バージョンとして、夜の更けるまでトレーニングに勤しんでいました。



2016年 歌い納めの16名

当日の参加者（敬称略、歌の順）と曲目は次のとおり。

- 1.馬場 清彦 ①ひばりの佐渡情話 ②つぐない ③酔いどれ
- 2.安次峰 暁 ①夜空の笛 ②名月赤城山 ③ふるさとはなしをしよう
- 3.高橋 哲男 ①瀬戸の花嫁 ②小樽のひとよ ③どうにかなるさ
- 4.村野 建彦 ①霧の摩周湖 ②愛の園 ③北の宿から
- 5.渡辺 真司 ①浪花節だよ人生は ②雨の慕情 ③君こそわが命
- 6.中村 敏明 ①チャンピオン ②大空と大地の中で ③くどい太めの納豆売り
- 7.高柳 康夫 ①奥入瀬 ②函館の女 ③今はもうだれも



- 8.村上 万里 ①冬のレビューラ ②冬の稲妻 ③海の声
 9.東海 俊孝 ①柿の木坂の家 ②みちのくひとり旅 ③酒と泪と男と女
 10.山口 謙二 ①さようならは五つのひらがな ②東京で一番淋しい女 ③城ヶ崎ブルース
 11.小山田朋樹 ①恋の町札幌 ②思い出の渚 ③神田川
 12.後藤 秀作 ①小樽運河 ②時の過ぎゆくままに ③人生の扉
 13.安藤 信雄 ①高原列車は行く ②みちづれ ③踊子
 14.井坂 宏 ①恋人よ ②百万本のバラ ③ラストダンスは私に
 15.平山 正経 ①酒場の金魚 ②涙から明日へ ③船頭小唄
 16.帆角 信美 ①ハイそれまでヨ ②麦と兵隊 ③北の漁場
 全 員 ①人生劇場 ②早稲田大学校歌



高柳 康夫 記

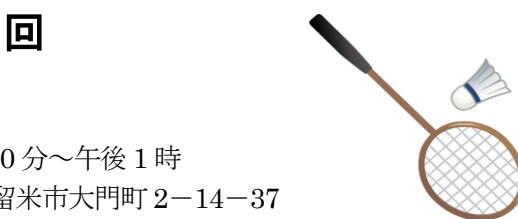
連載企画 部会探訪 第3回

<バドミントン部会>

昇格して 10 か月の新しい部会です

- 活動日・活動頻度： 毎週金曜日、午前 10 時 30 分～午後 1 時
- 活動場所： 東久留米スポーツセンター 東久留米市大門町 2-14-37
- 参加費： 参加の都度 160 円、3 か月に 1,000 円程度(シャトル代など)
- 活動内容： a、準備体操、b、クリアー(準備的打ち合い)、c、ポイントレッスン、d、ダブルスゲーム(組み替えながらどんどん試合)・・・これが全体の 80%・・・とても楽しい

5、バドミントン部会は・・・部会に昇格してほぼ 1 年。部員数は 15 名。通常は 12 名～13 名前後の参加です。専属コーチによる初歩からの丁寧な指導(ラケットの握り方から)。ワンポイントレッスンを一人一人受け、上達の道を進みます。今は全員マイラケットを取得し、ダブルスゲームを中心に楽しんでいます。東久留米バドミントン大会にも当部会より 2 度出場しました。リオオリンピック、世界選手権で日本チームの金メダル獲得に大きく刺激され、テレビ放送を参考に戦術展開などを研究しています。平均年齢 70 歳の我々ですが心は若い。思い切り汗をかいて思い切り楽しむ・・・一度おいでください。いかがですか？・・・。



バドミントンはとても楽しい!

- メンバー： 部会長 渡辺、コーチ中澤(外部招聘)、大島、安次峰、東海、坂井、中村、別処、山岡、片平夫妻、有賀、松崎、森野、渡辺(二人は一般市民) 渡辺 真司 記

<太極拳の集い>

「太極拳の集い」は、16 年の伝統と歴史のあるサークルで、毎週土曜日に稽古日を設定する、最も集合日の多い部会のひとつでしたが、最近、メンバーの高齢化に伴う減少もあり、毎月 3 回の稽古日設定に代わっています。

成美教育文化会館で土曜日朝 10 時～11 時半まで、参加者の年齢や体力に応じて、無理のない形で「楊名時の健康太極拳」の稽古に励んでおります。中国の武道が基になっているとはいえ、楊名時太極拳は「比べず、競わず」をモットーにして武道色を薄め、「気功」の要素を高めたものです。そのゆったりとした動きは、呼吸法と相まって、身体と心(精神)のバランス維持にとっても良い効果があるようです。稽古後の心地よい適度な疲労感と爽快感は、癖になるものがあります。ぜひ、健康維持増進のために、あなたも参加してみませんか？



太極拳 16 周年記念集会にて

現在、渡辺代表、鮎貝前代表を指導役として活動中。現役メンバーとしては、高橋現会長、帆角元会長、松崎さん、久家さん、井坂さん、中村さん、山口さん、有賀さん、小山田ですが、参加頻度は少なくなかったものの、菱山さん、比護さん、山崎さん、酒井さんも会員となっています。また、稲門会員の奥様の入会者も多く、さらに、市民にも門戸を解放していて、毎回これらの方々が 4～5 名稽古に参加しています。見学・体験入会、奥様同伴での加入、大歓迎です。是非、一度見にいらしてください。

小山田 朋樹 記

<俳句部会>

活動日：毎月第三日曜日 13:00～16:00

活動場所：主に生涯学習センター、または中央町地区センター

活動内容：兼題二句 当季雑詠一句を各自がもちよつての句会

活動の費用：年会費 2,000 円

会 員：橘部会長、杉本先生、本間、川俣、安宅、松田、馬場、神田、藤田、三田、比護、川島、三浦、片平 以上 14 名



句会での選句風景

セールスポイント：指導者のいない、互選のみ行う句会です。自信作なのに、誰からも選ばれなかったり、苦し紛れに作った句に、高得点が入ったり……一度味わったら、癖になるドキドキハラハラです。17 音の言葉の組み合わせは、面白くも難しく、かなりの頭の体操になること、受け合いです。俳句は敷居が高くて……とお思いかもしれませんが、決して決してそんなことはありません。歳時記さえあれば、気軽に始められる俳句に、今年はハマってみませんか？

片平 るみ 記

部会だより

<ウォーキング&山歩き部会>

2 月 5 日(月) 「長戸路・宝登山の蠟梅園を散策」(2 年前に実施実績) 集合 9:10 東久留米駅改札口長瀬駅からバス、ケーブルカー利用の選択肢有り。歩くのが苦手の方もどうぞ。

参加費：300 円 他に交通費(3 千円弱)、飲食代

4 月 2 日(月) 「桜の花見」(多少のウォーキングを含む)：場所未定
(桜の開花状況により、3 月 26 日(月))

番外編(甲州街道を歩く) ★途中参加の方も歓迎します。

1 月 22 日(月) 第 4 回【小仏峠越え、標高 548m】 8:40 東久留米駅改札口集合
小仏(バス停数点) → 与瀬(JR 相模湖駅) 総歩行距離 7.7 km 山道です。

2 月 19 日(月) 第 5 回【与瀬(JR 相模湖駅) ⇒ 上野原(JR 上野原駅)】現在の 20 号線を歩きます。
総歩行距離 10.7 km

3 月 19 日(月) 第 6 回【JR 上野原駅 ⇒ 下鳥沢(JR 鳥沢駅)】全行程旧道を歩きます。
総歩行距離 14.1 km

※連絡先：東海俊孝 電話 473-8566 e-mail: toshi-tokai@kvj.biglobe.ne.jp

別処尚志* 電話 475-1710 e-mail: t_bessyo@jcom.zaq.ne.jp



東海 俊孝 記

<映画鑑賞会> 3月中 (日程未定) 於：成美教育文化会館

『欲望という名の電車』 1951年 アメリカ エリア・カザン監督

テネシー・ウィリアムズの舞台劇を映画化した名作。汚れた過去を捨てようとした女(ヴィヴィアン・リー)が、ニューオリンズの妹夫婦(ハンター・マーロンブランド)の家を訪ねて来る。上品に振舞い、妹の夫の知人の尊敬を受けるが、過去が暴かれ破局が訪れる。暗く、緊張感溢れるリアリスティックな演出が、ハリウッド映画界に衝撃を与えた作品。

主演：ヴィヴィアン・リー (アカデミー主演女優賞 2度目)

マーロン・ブランド

助演：キム・ハンター (妹役 アカデミー助演女優賞)

カール・マルデン (夫の友人役 アカデミー助演男優賞)

※一つの作品から3人のアカデミー演技賞が出るのは珍しい



余談

1. ヴィヴィアン・リー：「風と共に去りぬ」で華々しくデビューして、久しぶりにハリウッドに復帰した今回の作品を、当人は「私が大嫌いな作品でした」と感想をもらし、最終試写もみなかったそうだ。
2. マーロン・ブランド：この作品で一躍有名になり、その後同監督の「革命児サパタ」、「波止場」(アカデミー主演男優賞受賞)、その後、好きな東洋を舞台にした映画が続き、晩年にコッポラの作品で重厚味を見せたが、同タイプのポール・ニューマンに押されるようになった。
3. エリア・カザン監督：この作品で確固たる地位を示し、続く「革命児サパタ」「波止場」「エデンの東」と好調であったが、50年代の<アカ狩り-共産党員弾圧事件>に関与した事実が発覚(密告)から仕事が減り、晩年彼がアカデミー特別功労賞を受賞するも会場の客席は、誰一人も拍手をしませんでした。

米光 慶二郎 記

<グルメ部会> 第29回東稲グルメ会「川越 うなぎ・ぽんぽこ亭」 3月5日(月)

開催日時：平成30年3月5日(月)

会場：うなぎ・ぽんぽこ亭

埼玉県川越市藤間 151-7 Tel：049-243-5450

集合場所・時刻：東久留米駅改札口(2階) 午前9時集合

※食事前に川越の蔵造りの街を散策します。

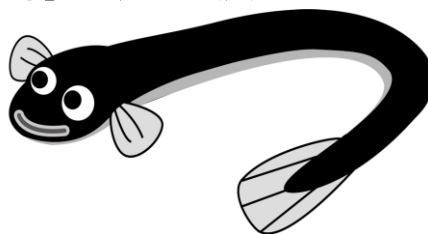
会費：男性 5千円、女性 4千円

申し込み：<締め切り>2月28日(水) *席数の関係で先着20名で締め切らせていただきます。

<申し込み先>村野・固定 tel・fax：476-2829、携帯：090-4003-0273、

Eメール murano@po.cnet-sc.ne.jp

村野 建彦 記



東稲広報室

<Table For Children>

10月13日に7,000円、12月13日に7,500円を滝山子供食堂に送金しました。これにより、2017年は合計で21,500円になりました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。今年度もよろしくお願いいたします。

河村 洋子 記

<新年会 BINGOゲーム賞品「持ち寄り」のお願い>

1月27日(土)14:00～ 成美教育文化会館にて東久留米稲門会『新年会』が開催されます。その中で今年も「BINGOゲーム」を行います。上位賞品は「商品券」を予定しておりますが、皆さまに、賞品となる「品」の持ち寄り/ご提供をお願いいたします。ご自宅にあり、現在使用していないモノで、「賞品」に相応しいと思われるものがあれば、ぜひ、この機会にご提供をお願いいたします。

なんでもOKです。よろしくお願いいたします。

新年会担当幹事

熊本地震の被害と活断層を見て思う

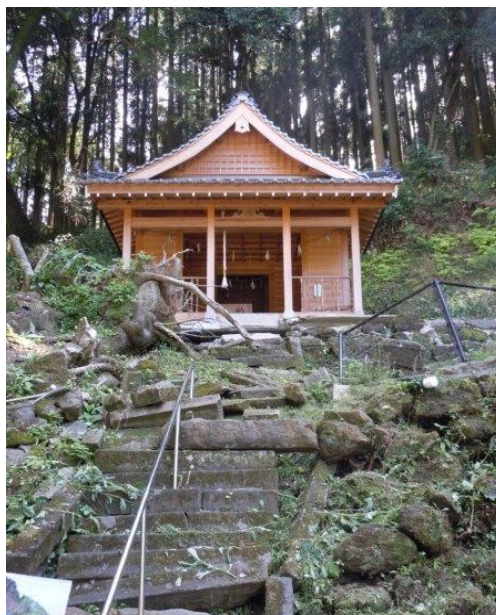
横田 治彦（45年 理工）

平成28年4月に発生した熊本地震から約1年半経ちました。いろいろな研究機関による地震と活断層に関する研究や調査成果がまとまりつつあります。このような時期に某研究所が企画した「熊本活断層巡検」の2泊3日の調査に参加する機会がありました。現役の頃は建物の耐震に関わる研究や開発に長く関わり、地震後の被害調査に何度も参加したものですから、退職後もこのような調査には大変関心があります。地質学の専門家による入念な事前調査がされており、巡検には3人の地質学の専門家が同行しました。

平成29年10月初旬に熊本空港を起点にして被害の大きかった益城町、西原村の状況と地震を起こした布田川断層帯、日奈久断層帯のリニアメント沿いに現れた地表地震断層を阿蘇までの広い範囲で見ることが出来ました。また、熊本市内では熊本城の被害と復旧工事の状況、市街地の状況なども見ました。報道では益城町の状況が大きく取り上げられていましたが、阿蘇大橋の崩壊現場など大きな地滑り、土石流、山体崩壊が阿蘇カルデラの中にも多く見られ、地震被害が大変広範囲にわたることが実感できました。

九州地方は日本でも最も火山活動が活発な場所ですが、阿蘇は30万年前から4回の巨大噴火を起こしており、その際に噴出した膨大な溶岩流や極めて大規模な火砕流によって現在の地形、地盤構造が形成されています。また、大きくはフィリピン海プレートの沈み込みによる、構造線、活断層が分布しています。プレートの動きと火山は密接な関係がありますから、九州の景観、温泉、豊富な地下水などの「めぐみ」と噴火や地震による「災い」は切り離すことができません。益城町の教育委員会の方の説明の中にも、活断層の近傍に位置している町として地表に現れた断層を天然記念物として保存し、活断層から湧き出す清冽な水と神社の関係や地元の伝承（大蛇伝説と地震の関わり）などを後世に残して、力強く再建を進めてゆく気概が感じられ頼もしく思いました。日本人が自然と付き合っ、たくましく生きる民族だということを強く感じます。熊本城の復興にかける熊本県人の強い思いも、現地に行くとよく理解できるような気がします。

今回の旅で改めて思うのは、自分たちの住む地域の地形・地質・活断層などを良く知ること、事前の対策と地震直後の適切な行動、地域の連帯などの重要性です。



益城町の潮井神社境内に現れた布田川断層により参詣道の石段が70cmずれ、榎の御神木が倒壊しています。境内には断層に起因する潮井水源の湧水があります。

<編集後記>

謹賀新年 元旦からスーパーやコンビニは普段通り営業、年末年始らしさが薄れていくように感じるなか、初詣とラグビー・駅伝は、私にとって「正月」を感じる大切なイベント。残念ながら赤黒ジャージはなかったが、箱根路の「W」マークはしっかりTVに写って熱く声援を送ることができた。今年もワセダガンバレ！で始まった。12月を振り返ると、忘年会で何回も宴会をするのも、クリスマスを祝うのも、年賀状を書くのも、門松を「冥土の旅の一里塚」と思いつつ飾るのも、紅白をダラダラ見るのも、すべてこの時季の「ルーティン」。らしさを感じなくなったのは、単に鈍感になっただけか。(朋)